

屋内の遊べる場づくり事業室内整備業務委託  
公募型プロポーザル審査基準

- 1 審査項目及び各配点は以下のとおりとし、審査員 7 名が採点する。
- 2 合計点数の高いものから順に審査員ごとの順位をつける。
- 3 全企画提案者の中で各審査員がつけた 1 位の数が最も多かった者を受託候補者とする。  
なお、1 位の者が複数の場合は、最も得点の高かった者を受託候補者とする。
- 4 提案者が 1 者の場合は、審査員採点の総和の平均 60 点以上をもって受託候補者とする。

審査基準

審査項目		審査の視点・判断基準	配点
組織審査	1 履行実績	過去 5 年間に同種・類似案件の実績はあるか。 ・ 同種業務実績 3 件以上 ・ 同種 1、2 件又は類似案件実績 ・ 実績なし	5
	2 実施体制	適切な業務を提供できる実施体制か。 ・ 担当者数、担当者の配置や構成が妥当である。 ・ 担当者数、担当者の配置や構成にやや不足がある。 ・ 担当者数、担当者の配置や構成が妥当でない。	5
提案内容審査	1 提案事項を実施するに当たっての取組方針	業務内容の理解度はあるか。 ・ 目的・条件・内容の理解度が高く、簡潔に記載されていると認められる。 ・ 目的・条件・内容の理解度にやや不足がある。 ・ 目的・条件・内容の理解度が低い。	10
	2 業務の実施手続	業務実施手続を示す業務フロー又は工程表等は妥当か。 ・ 業務フローや工程表等の妥当性が高い。 ・ 業務フローや工程表等の内容にやや不足がある。 ・ 業務フローや工程表等が妥当でない。	10
	3 現況・課題への理解度	現況・課題への理解は十分か。 ・ 現況・課題の理解度が高いと認められる。 ・ 現況・課題の理解度にやや不足がある。 ・ 現況・課題の理解度が低い。	10
	4 提案内容の的確性	提案内容は業務要求水準を充足しているか。 ・ 業務要求水準を充足しており、課題の解決方法についても十分に確認できる。 ・ 業務要求水準に不足がある。 ・ 業務要求水準との差が大きい。	10
	5 特定テーマへの提案	特定テーマ（屋内遊び場の設計）との整合性は高いか。 ・ 提案において、業務に必要な着眼点、問題点、解決方	25

		<p>法等が確認できて、特定テーマに相応しい内容である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ やや内容が不十分である。</li> <li>・ 特定テーマとの整合性が低い。</li> </ul>	
		<p>特定テーマ（制作・施工業務）との整合性は高いか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案において、業務に必要な着眼点、問題点、解決方法等が確認できて、特定テーマに相応しい内容である。</li> <li>・ やや内容が不十分である。</li> <li>・ 特定テーマとの整合性が低い。</li> </ul>	25
合計			100